

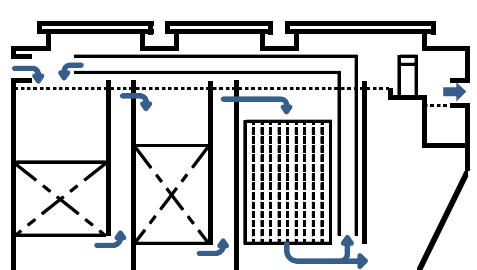
## 事例 2 9 循環水停止により 1 次処理機能を回復させた事による水質改善事例

### 1 基本情報および一年間の測定結果等



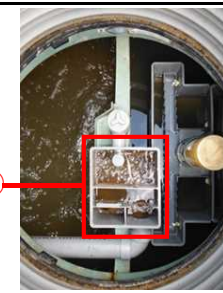



処理方式	嫌気ろ床接触ばっ気				人槽/使用人員				7人槽/5人使用			
メーカー/型式	ベスト工業(株)/UCZ型				日平均汚水量				0.95m <sup>3</sup> /日			
作業予定月(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
保守・清掃・法定	-	清掃	-	保守	-	-	-	保守	-	法定	-	保守

	放流水透視度(度)	DO (mg/L)	pH	1次処理流出水透視度(度)	1次処理1室 (cm)		1次処理2室 (cm)		沈殿槽 (cm)		
					スカム厚	堆積汚泥厚	スカム厚	堆積汚泥厚	スカム厚	堆積汚泥厚	
清掃	平成25年2月6日	22	/	6.5	10	3	22	/	17	/	
保守	平成25年4月25日	31	3.9	7.3	7	0	11	0	6	0	7
保守	平成25年8月19日	23	3.1	6.9	6	0	13	0	10	0	10
法定	平成25年10月16日	18	3.8	6.8	7	0	12	0	16	0	14
保守	平成25年12月24日	34	4.7	7.2	14	3	15	1	14	0	8

### 2 法定検査時の槽内状況と設定状況および概要図

法定検査時の状況			概要図		
① 1次処理にスカムの生成がない。 ② 1次処理流出水透視度7度で処理機能が低下している。 ③ 2次処理に微細化したSSが多い。			 <p>ろ材      接触材</p>		
	メーカーの基本設定	保守点検の設定			
循環装置	状況により常時移送	2.0 L/分			
空気逃がし	状況により空気量調整	開度50%			

### 3 槽内写真

流入				放流
	① 循環水の採水箇所	② 循環バルブ(灰色)	③ 循環水調整BOX	
				
	① 循環水量 2.0L/分 常時稼働している。	② 循環バルブを全閉にしても、循環水が停止しない構造。	③ 循環水を停止するには、 ④ 調整ゲートを下げ、2次処理に循環水を戻す。	

#### 4 透視度低下の原因

- ① 循環水の常時稼働により、固液分離機能が低下している。
- ② 1次処理流出水透視度が7度に低下している。

#### 5 法定検査から保守点検への指示内容

- ① 1次処理の固液分離機能を高めるため、循環水を停止して下さい。
- ② 2次処理に堆積した汚泥は、逆洗と併せて移送して下さい。

#### 6 保守点検から法定検査への返信内容

放流水の水質		措置① 平成 25年 10月 18日 (法定検査から 2日後)
透視度(度)	17	指示通り調整しました。 逆洗後、汚泥移送を行い循環水を停止しました。
pH	6.9	
DO(mg/L)	3.6	
放流水の水質		措置② 平成 25年 11月 4日 (法定検査から 19日後)
透視度(度)	26	1室にスカムが1cm浮上し、1次処理流出水透視度が12度に向上しました。 現状の調整で経過観察します。
pH	6.9	
DO(mg/L)	4.2	
放流水の水質		措置③ 平成 25年 11月 19日 (法定検査から 34日後)
透視度(度)	31	放流水透視度31度に回復しました。 1次処理流出水透視度12度。
pH	7.2	
DO(mg/L)	4.9	
放流水の水質		措置④ 平成 年 月 日 (法定検査から 日後)
透視度(度)		
pH		
DO(mg/L)		

#### 7 保守点検から清掃への申し送り事項

- ① 循環水は停止しています。
- ② 循環水量調整ゲートの位置を変更しないで下さい。

#### 8 清掃時の留意点

- ① 清掃記録票から水質等、一年間の経過と申し送り事項の内容を踏まえ作業と調整を行う。
- ② 1次処理1室のろ材は骨格様球状、2室は網様円筒状。
- ③ 循環バルブを全閉にしても、エアリフトポンプが停止しない構造。